堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし文活」の進捗について

方向性・決定事項

「ひがし文活」では、区民が芸術・文化に気軽に触れて身近に親しめるよう、体験・発表できるような取組を企画・検討中である。

- ・取り組む文化のカテゴリは「芸術・文化（絵画、彫刻、音楽・文学・演劇・舞踊等）」とする。
- ・次世代を担う子どもをメインターゲットに、東区内全域を取組候補地とする。
- ・先行事業として、小学生を対象に東区テーマの絵画を募集し、南海高野線4駅（北野田駅・萩原天神駅・初芝駅・白鷺駅）に展示する「駅での子ども絵画展示事業」を実施。

これまでの経緯（会議での意見）

第1回ひがし文活（令和3年10月13日）

○文化について議論

（会議での意見）※一部抜粋

- ・東区では、狭山池やため池などの「水」「農業」の文化や、須恵器に由来する「陶器」の文化、綿や織物の歴史に由来する「産業」の文化、「だんじり」などさまざまな文化が考えられる。
- ・「ひがしふれあい文化祭」「ひがしアートフェスタ」も現在の文化である。
- ・かつてあった「文化村」は地域住民にあまり知られていないが文化的価値がある。
- ・「聞く」「見る」だけでなく「体験する」「触れる」というのも重要である。
- ・SDGsと絡めても良いと思う。
- ・日常生活の視点から「食」「健康」「生活」も小学生に興味を持ってもらえるのでは。

第2回ひがし文活（令和3年12月22日）

○取組における文化のカテゴリ「芸術・文化」、メインターゲットは子ども（小学生）とし、東区内全域を取組エリアとして議論

（会議での意見）※一部抜粋

- ・共生社会実現に向けた活動をしている書家と子どもたちのイベントなどが考えられる
- ・東区は4駅あるという特色を活かして、駅舎に子どもたちが描きたいまち、未来のま

ちの姿を飾ることで、まちづくりの意識も生まれるのではないか。

- ・ 展示は地域の掲示板やWEBギャラリーも考えられる。
- ・ 陶器の供給源だったことから子どもたちとの陶芸体験も考えられる。
- ・ 昔の写真の展示会や写真での東区の魅力の発表も良いと思う。
- ・ 「絵であふれている東区」「音楽が奏でられている東区」「文化の東区」をめざしてはどうか。普段の生活に根付いていないと文化として定着しないと思う。

第3回ひがし文活（令和4年3月16日）

○ 駅での子ども絵画展示事業を中心に議論

（会議での意見）※一部抜粋

- ・ 掲示場所は周辺の店舗など地域の協力を得ながら順次増やせばよいと思う。
- ・ どれほど応募してくれるかわからないが。今回はどれだけ応募してくれるのか確認してみたいし、今後の進め方の検討にもなるので、ぜひとも公募でやってみてはどうか。
- ・ 学校に協力を依頼する場合、学校の行事やスケジュールをふまえて検討することが望ましい。
- ・ 絵画のテーマについては「東区」といれるより「私たちのまち」とするほうが子どもたちにとってハードルが低くて良いと思う。
- ・ 参加賞を用意してはどうか。

今後のスケジュール（案）

- 4月 駅での子ども絵画展示事業の企画内容確定
- 5月以降 子ども絵画の公募開始
地域での絵画展示場所・文活の取組スローガン・他の取組内容の検討
- 7月以降 子ども絵画の駅展示開始・WEBギャラリーの開設
- 9月以降 駅での子ども絵画展示事業のふりかえり